

# 会 議 録

## 1 会議名

第5回浦川原区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 報告（公開）

#### ア 会長報告

- ・旧末広小学校の跡地利用について

#### イ 委員報告

（報告なし）

#### ウ 市からの報告

- ・霧ヶ岳温泉ゆあみの再活用に関する民間事業者との対話の実施について

### (2) 協議（公開）

#### ア 中学生との意見交換会について

#### イ 浦川原区地域協議会委員研修会の実施について

#### ウ 次回の開催日時等について

### (3) その他（公開）

## 3 開催日時

平成29年8月30日（水）午後6時30分から午後7時00分まで

## 4 開催場所

浦川原保健センター 多目的ホール

## 5 傍聴人の数

6人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委 員：五十嵐広美、池田幸博、市村一雄、金子百合江、杉田和久、西山康博、福井克利、藤田宏禎会長、前島邦子、村松清、村松進副会長、和栗恵子副会長
- ・事務局：浦川原区総合事務所大坪所長、岩野次長、総務・地域振興グループ岩野グループ長、産業グループ山崎グループ長、建設グループ小林グループ長、市民生活・福祉グループ五井野グループ長、市民生活・福祉グループ太田上席保健師長、

## 8 発言の内容

### 【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・出席者は12人。金子委員から遅れて出席の連絡あり。
- ・会議録の確認：杉田和久委員に依頼。

### 【藤田会長】

それでは、「2 報告」に入る。まず、「(1) 会長報告」である。

8月18日(金)に総合事務所で末広小学校の跡地利用についてお話しした。それと、障がい者6団体で1,200人ほどの会員がいて、私が会長も務めている関係で、こちらでもお話ししていた。

地域協議会としては、約束どおり跡地利用も考えていくということであり、その経緯について8月18日(金)に大坪所長と五井野グループ長へその趣旨を説明させていただき、所長を通して8月21日(月)の午後1時30分に教育長に面会させていただいた。出席者は大坪所長、教育総務課の野澤教育長、早川次長、市川課長、親跡参事、学校教育課の澤田課長であり、跡地利用について構想のお話をさせていただいた。

浦川原区の地域協議会と障がい者6団体の話に食い違いがないように、事前に教育長に障がい者6団体もこの問題を取り上げていくといったお話をさせていただいた。教育長は、「お話はお聞きする。」ということであり、学校教育課の澤田課長は「共生社会と言われているが、学校には現在それなりの対応ができる。」といったお話をされていた。その際に、保護者や学校の現場の立場でのお話をさせていただき、理想と現実がかけ離れている状態ではないかと事例を挙げて説明させていただいた。教育委員会ではこれから進めていくと思われるが、教育長は「市長がどういった発言をするのか注目したい。」と言われていた。

そして、8月24日(木)に市長にお願いをしてきた。全部で5項目あり、その中の「手をつなぐ育成会」とは知的障害のある方々の団体であり、この団体で、是非、末広小学校の跡地を利用した支援学校をお願いしたいと要望した。この大きな理由は、今、高田支援学校と上越支援学校は両校とも県立であり、高田支援学校に絞ってお話をさせていただくと、寄宿舎があり、遠方の方々が寄宿舎を利用するのが前提なのだが、今は

それ以外の理由で利用されていて、遠方の方々が利用できないといったことが実状である。是非、遠方の方々が学校への通学のための時間の軽減をお願いしたいということで要望させていただいた。

例えば、大島区の中学校から高田の支援学校へ行く場合、1日140km移動しなければならないということで、朝送って帰って来る、そして、夕方に迎えに行き帰って来るということで、男女共同参画といったことも言われているが、お母さん方の負担になっているということである。これは東頸地区だけではなく、吉川区、柿崎区でも同じことが言える。そして、三和区、頸城区も含めて頸北地区と東頸地区では、180人ほど利用対象の方々がいると考えられる。ただ、この方々が全て支援学校を利用するというわけではないが、そういった方々が希望されれば受け入れるという形で作っていききたいといった思いでお話しさせていただいた。

市長にも、今までの学校の形と、今、願っている形は住民の皆さんも参加していただけるような学校づくりをしていきたい、お願いしたい、というお話をした。ご存じのように、支援学校は上越市立のものはないということで、市長には、周辺の糸魚川市、妙高市、十日町市、南魚沼市などでも頑張っているといった事例を挙げて説明させていただいた。市長は、「勉強させてほしい。」と言われていた。

続いて、8月25日（金）に議会へお願いし議長と副議長にお会いして、同じ内容の説明をしてきた。地域協議会でも十分協議の上、挙げてほしいということである。そして、議会事務局から電話があり、9月14日（木）になるが、厚生常任委員会で陳述をさせていただくということで、皆さんのご理解をお願いしたい。

次に、「(2) 委員報告」で、皆さんから何かないか。特になければ、今の会長報告での質問を受ける。経過報告ということでよろしいか。

（会場内から「はい。」の声）

次に、「(3) 市からの報告」で、「霧ヶ岳温泉ゆあみの再利用に関する民間業者との対話の実施について」産業グループ山崎グループ長より説明いただく。

**【産業グループ山崎グループ長】**

（資料1に沿って説明。）

**【藤田会長】**

これについて質疑等ないか。経過報告ということで了解する。

続いて、「3 協議」で、「(1) 中学生との意見交換会について」村松進副会長より説明をいただく。

【村松進副会長】

(資料2に沿って説明。)

【藤田会長】

平成29年度の実施について説明いただいた。また、今年度分でも積み残しがあるということで、平成28年度の資料の中ほどになるが、班別協議のテーマで「浦川原の産業」、「浦川原と交通網」、「住みよい浦川原」、現状(課題)と解決方法ということで、「浦川原と交通網」については8月16日(水)に皆さんへ郵送されていると思うが、意見書として市長へ意見を出している。ほくほく線の電車内のトイレの設置、山印内のホームセンターとコンビニエンスストアの所の交差点の信号機の設置で意見書を出しており、一か月以内に回答が来ると思うが、9月中には中学校へフィードバックできると思う。

これについて何か意見はないか。よろしいか。次に、「(2) 浦川原区地域協議会委員研修会の実施について」岩野グループ長より説明いただく。

【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

(資料3に沿って説明。)

【藤田会長】

今、説明いただいたが、研修会は自治区制度について学ぶということである。1年4か月が経ち、皆さん委員にも慣れたかと思うが、もう一度、自治区制度について勉強しようということである。これについて何か意見はないか。よろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

日程については、決まり次第お知らせするので、よろしくお願ひしたい。

次に、「(3) 次回の開催日時等について」で9月28日(木)の午後6時30分から浦川原地区公民館の3階の講堂で実施したいと考えているが、都合のつかない委員はおられるか。

(会場内声なし。)

それでは、よろしくお願ひする。

「4 その他」で皆さんから何か提案、連絡事項等ないか。

ないようなので、これで第5回浦川原区地域協議会を閉じる。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : [uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。